

たけうち おさむ

竹内 修一 カトリック司祭(イエズス会)

上智大学神学部神学科教授、専攻は倫理神学(基礎倫理、いのちの倫理、性の倫理)



学歴:

上智大学哲学研究科修了(哲学修士)、同大学神学部神学科卒業、Weston Jesuit School of Theology(神学修士)、Jesuit School of Theology at Berkeley(神学博士)。

職歴:

上智大学キリスト教文化研究所所長(2011/04～2019/03)、上智大学神学研究科委員長(2013/04～2019/03、2021/04～2023/03)。

所属学会:

日本生命倫理学会、日本倫理学会、日本カトリック神学会、日本基督教学会

主な著書:

■「いのちの隔離——ハンセン病は何を語るのか——」『「いのち」の力』(共著)、キリスト新聞社、2021年

■「いのちの行方——人間の裁きと神の赦し——」『キリスト教文化研究所 紀要 37』、2018年

■「赦しと和解——慈しみの心に生かされて」『神のいつくしみ——苦しみあわれむ愛』(共著)、日本キリスト教団出版局、2017年

■「仏教とキリスト教の教え」「声に出して読みたい聖書の名言」『【徹底比較】仏教とキリスト教』(共著)、大法輪閣、2016年

■“Three Modes of the Embodiment of Conscience,” in *Conscience and Catholicism: Rights, Responsibilities, and Institutional Responses*, David E. DeCosse and Kristin E. Heyer, eds., Orbis Books, 2015.

■「日本における心の教育と倫理——形のない心を形づくる」『教会と学校での宗教教育再考——<新しい教え>を求めて』(共著)、オリエンズ宗教研究所、2009年

■『ことばの風景——福音の招きとその実り』教友社、2007年

■『風のなごり』教友社、2004年